

とぴあ

スター制度の ご紹介 「スター制度」認定者インタビュー



健康増進センターでの検診後に、
地産地消食材の食事を提供しています。

人間ドックの検診後、体に良いものを食べていただきたくて、安心安全な食事提供の取組の一つとして、鈴鹿市にある無農薬野菜を栽培している農家さんが育てた野菜を使用しています。また、肉や野菜に関しても、地元食材を優先的に使用。食事アンケートでも高評価をいただきました。私自身が地元食材のことを勉強し続け、より良い料理が提供できるよう、これからも努力していきます。座席に飛沫防止のパーテーションを設置するなど対策もしております。今後も皆さまのご意見、ご要望を反映させたいと考えておりますので、ぜひお聞かせください。

富田浜病院 栄養課
日本料理専門調理師
さかた けい いち
坂田 圭一



お願い

富田浜病院グループでは、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、皆さまをお迎えしております。来院、ご利用の際は、ご協力よろしく願いいたします。

医療法人 **富田浜病院**

〒510-8008 三重県四日市市富田浜町26-14

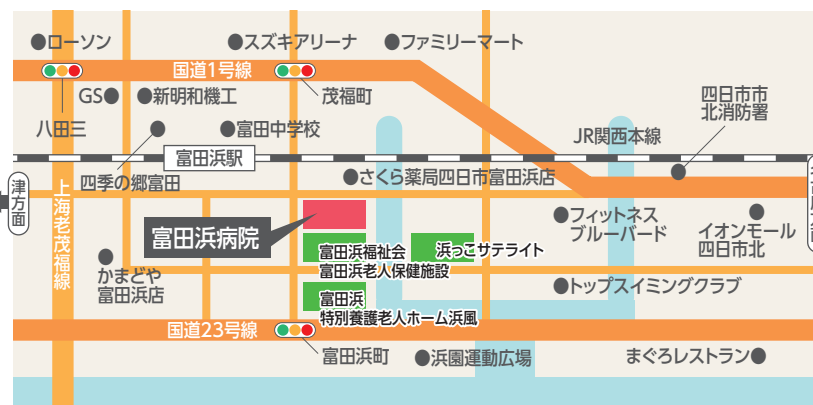
お気軽にお問い合わせください

tel **059-365-0023**

富田浜病院

検索

HPはこちら



技術による体のケアだけでなく、
患者さんに寄り添うことで
心のケアもしていきたい。

中学校時代から9年間にわたり柔道をしてきて、骨折や脱臼、じん帯損傷など、選手として練習ができない経験を何度もしました。そのような際に柔道整復師の方に、何度も支えていただいて、それが私の原点になっています。

柔道整復師の役割は多様です。予診の際に痛みの原因についてお聞きすることもあれば、ケガをしにくい体づくりを患者さんと一緒に考えて考えることもあります。様々な場面で患者さんと接する際に心がけているのは、体の痛みをとることだけでは

なく、きちんとお話をしながら、心のケアまでしていくことです。私自身、部活で迷っていたとき、落ち込んでいた時、柔道整復師の方に相談して、心がスッキリしたことがありました。だからこそ、次は私が、目の前の困っていらっしゃる方のためになりたいと思っています。

柔道整復師として働きだしてもうすぐ2年。患者さんから「仕事には慣れた?」と声をかけてくださることもあって、実はとてもうれしく思っています。話しやすい柔道整復師が、私のモットーです。もっと知識を増やし、技術を高め、そして自身の選手だった経験、ケガをした経験をもとに、患者さんに喜んでいただける柔道整復師を目指します。ぜひお気軽に、不安なこと、気になっていることなど、話しかけてください。

Staff
Voice

富田浜病院
柔整課 柔道整復師
さとう きょうこ
佐藤 京子



部署紹介

じゅう せい か 柔整課



**患者さんの持つ治癒能力を最大限に
発揮させる施術を行う専門職です。**

柔整課は、柔道整復師という国家資格を持つ職員が、日々の業務にあたっています。整形外科の患者さんに対しては、医師の指示により、初診患者さんの予診聴取、骨折・脱臼の徒手整復からギプス固定などの補助業務を行っています。リハビリテーションにおいては、スポーツ外傷・障害、

慢性的な痛みなどを抱えていらっしゃる方に対して、痛みの緩和や予防などを目的として筋力強化訓練やストレッチ等の運動指導を行っています。我々は、患者さんの持つ治癒能力を最大限に発揮させることこそが重要だと思っています。



初診の方が医師に対して的確に痛みの内容について伝えるためのサポートとして、痛みの原因や、痛み方の具合をお聞きする予診聴取をしています。



急性や慢性、症状に合わせ、温熱や電気など物理的なエネルギーを利用した物理療法を行っています。



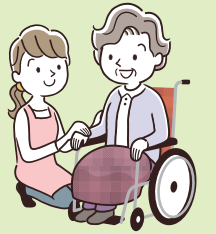
医師の指示によるギプス固定、包帯の交換なども行います。丁寧な巻き方を心掛け、体への負担を最小限に抑えます。

患者さん、 ご家族の 皆さんへ

医師、理学療法士、作業療法士などと協力しながら、患者さんの痛みのケアに努めています。長時間にわたりお話ししながら施術を行う機会も多くありますので、ぜひゆったりとした気持ちでいてくださればと思います。予防にも力をいれておりますのでご相談ください。



富田浜病院グループの取組



職員が決勝の舞台に！ 「みえ介護技術コンテスト」

みえ介護技術 コンテストとは？

毎年11月11日は「介護の日」です。2017年度より富田浜病院の職員も参加している三重県介護福祉協会が主催し、介護の質向上や介護の魅力発信事業を目的に「みえ介護技術コンテスト」を実施しています。介護の仕事は年齢や性別に関係なく、今後さらに需要が高まる仕事であり、活躍の場が広がっております。大会を通して介護の仕事の魅力を発信すると共に、介護の質の向上を図り、次世代につなげていくことが重要であり、施設職員だけではなく、県内高校・専門学校の生徒も多く参加されています。

富田浜病院グループのMS部（介護部）日々の努力の成果発表会だと思って職員に参加を募ったところ、なんと4部署から出場したいと！うれしい限りでした。介護技術コンテストは、他者と比較され評価されますので、日常では味わえない雰囲気を感じてもらう良い機会だと考えています。資格を持ったプロ集団ですので、つねに一流を目指し、向上していきたいと考えています。教育活動などは、自発的な取り組みが生まれております。富田浜病院グループ職員として、患者・利用者さんの期待に応えるべく、こういう機会には積極的に参加し、介護を楽しみながら成長へ結びつけたいと思っています。

参加者の声



社福サービス介護福祉士
久保 千恵

私が所属しているのは通所リハビリテーション施設で、送迎業務は独自のもの。より安全に安心して利用してもらえる通所を目指して日々、介護に取り組んでいるため、様々な自宅環境に合わせて、安全に留意して送迎業務を行っているという事を見ていただきたいと思います。今大会はコロナ禍ということもありオンラインでの開催。2通所合同での出場、事前にテーマを決めるための打ち合わせや、発表をどの場面にするのか、何度も話し合いを重ねました。出場したいという私の思いに賛同、協力してくれた上司、同僚には感謝しかありません。そんな意識の高い仲間と一緒に仕事ができているという事を改めて気づかされました。この経験を富田浜MS部の活性化に活かしていければと思っています。

